


提出 順番	No. 3	令和 4 年 8 月 25 日 午前・午後 夕時 30 分
----------	----------	----------------------------------

令和 4 年 8 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 藤原 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
幕別環境ひろばの開設 を商店街に	<p>全ての町民が気候危機を自分のことと捉え行動を変えることが必要と考え、エコな暮らしを気付いて築くため、日々の暮らしを明るく楽しく、そのような生活の応援をする場を商店街の空き店舗に開設してはどうか。</p> <p>国の脱炭素政策はエネルギーの供給側の画期的な新技術の開発が主流であるが、近年の傾向として産業や運輸、家庭、農業など需要側の対策を詳しく検討し、それを進めようとしている。それ故に脱炭素社会の実現に少しでも貢献するため、低コストで身近な対策のひとつとして幕別環境ひろばの開設を求める。</p> <p>開設の目的1つ目は、地域の交流拠点として、環境問題を暮らしの中から見だし、ごみの減量活動やリサイクルを実際に行う。</p> <p>2つ目は、限りある資源の有効活用を未来の子どもたちのために、エコ情報を発信する拠点として整備し循環型社会の構築を目指す。</p> <p>3つ目は、環境問題に住民の意向を反映させ、企業や行政との新しい協働関係を創造していく。</p> <p>以上の目的を実現するため具体的な課題について伺う。</p> <p>1 開設すべき場所は、昭和の風情が残り、町民にとっては公共的財産であったことから、地域の交流拠点として廃業した銭湯を使い開設してはどうか。</p> <p>また、家庭の不用品をリユース・リサイクルするこ</p>

	<p>とで町民の交流が期待できると考える。</p> <p>2 管理する人材は地域おこし協力隊で、町に定住してもらう仕事のひとつとして、また、世代を越えた交流や気軽に立ち寄れる場への期待が持てる。地域の居場所として親近感のある対応が可能と考えられる。</p> <p>3 町からの支援策は、商店街活性化店舗開店等支援事業があるが、他に手立てはないのか。</p> <p>4 将来を担う子どもたちへの町としての環境教育の取り組みについて</p> <p>5 3R・低炭素社会検定の受験を進めるため、小中高の若者に助成することはできないのか。</p>
--	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。